

本日(10月16日)の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて本日10月16日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

本日(10月16日)、基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (10/15)	基準価額 (10/16)	変化率
ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド	5,170 円	4,739 円	-8.34%
アイエヌジー・海外株式オープン	6,671 円	6,072 円	-8.98%
アイエヌジー・グローバルバランスオープン(積極投資型)	6,311 円	5,927 円	-6.08%
アイエヌジー・日本株式オープン	4,066 円	3,696 円	-9.10%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	10月14日終値	10月15日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	9,310.99	8,577.91	-7.87%
FT100 指数(英国)	4,394.21	4,079.59	-7.16%
DAX 指数(ドイツ)	5,199.19	4,861.63	-6.49%
CAC40 指数(フランス)	3,628.52	3,381.07	-6.82%
TOPIX(東証株価指数)	955.51	864.52	-9.52%

※海外の株価指数は10月15日と10月16日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。なお、TOPIXは10月15日と10月16日の終値を表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	10月15日の評価値	10月16日の評価値	変化率
ドル/円	101.67	100.06	-1.58%
ユーロ/円	138.14	134.82	-2.40%
英ポンド/円	177.06	172.93	-2.33%
豪ドル/円	70.36	66.67	-5.24%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

【基準価額下落の要因】

当該ファンドの基準価額が下落した主な要因のうち、海外の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は海外の株式市場の下落と主要通貨に対する円高、日本の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は日本の株式市場の下落となっております。

【海外株式】

10月9日の欧州株式市場は、前日までの上昇局面が一服し、もみ合いの展開で始まりました。依然として銀行間の取引に不透明感が強く、流動性の少ない状態が続いていました。英国の失業者数が2年ぶりの高水準を記録するなど、欧州景気の先行き不透明が強まりました。午後になって米国の経済指標が発表されると下げ足を早め、ほぼ一日の安値で取引を終了しました。

主要指数は、英国のFT100指数が7.16%、ドイツのDAX指数が6.49%、フランスのCAC40指数が6.82%の下落となりました。

米国では9月の小売売上高が前月比1.2%の減少と2005年9月以来の大幅な落ち込みとなりました。また、NY連銀製造業景気指数が2001年の集計開始以来の最低水準に落ち込むなど、消費・生産の両面で急速に悪化していることが示されました。これを受けた株式市場は実体経済の悪化を織り込む形で急落しました。

主要指数ではダウ工業株30種平均が7.87%の急落で9000ドルの大台を再び割って10月10日の安値に接近したほか、S&P500種株価指数は9.03%、ナスダック総合指数は8.47%の下落となりました。

【日本株式】

世界的な金融危機に対する各国の対応がここ数日で一段と加速したにもかかわらず、本日(10月16日)の株式市場は、世界経済の悪化懸念がさらに強まり、日経平均株価で前日比1,089.02円(11.4%)安の8,458円となり、TOPIXは90.99ポイント(9.5%安)の864.52で取引を終えました。日経平均株価およびTOPIXともに1987年10月のブラックマンデー以降で最大の下落率となりました。

昨日の米国の流れを受け継ぎ、世界的な景気後退懸念から、海運、鉱業、卸売などの景気敏感セクターを中心に大幅な下落となりました。

【外国為替市場】

外国為替市場では再び円高の動きとなりました。米ドルは比較的しっかりしていたものの、世界の景気後退懸念からオーストラリア・ドルや南アフリカ・ランドなどの資源国通貨が大きく下落し、ブラジル・レアルなどの新興国通貨もドル建ての新興国債券市場の下落(金利は上昇)を反映して急落しました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15% (税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89% (税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。